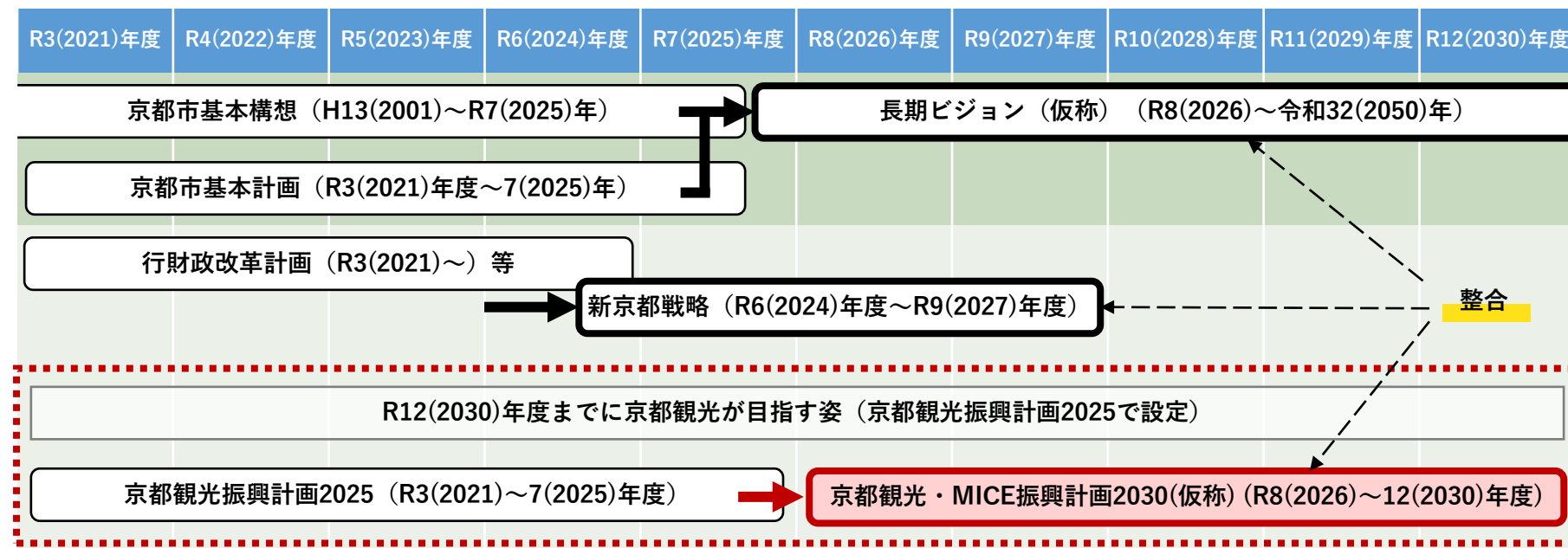


「京都観光・MICE振興計画2030」（仮称） 検討の方向性等

大枠の方向性

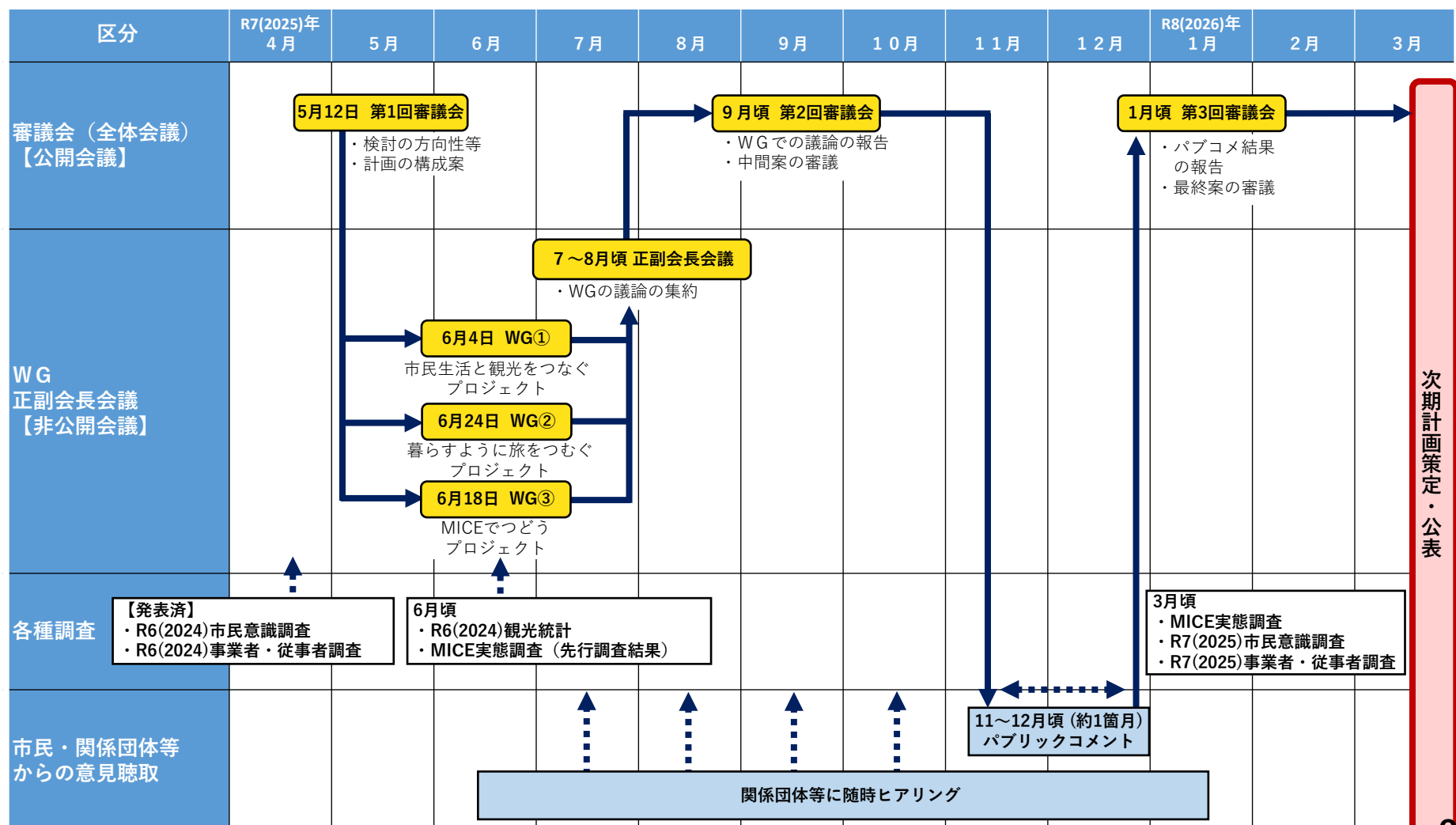
- 現計画「京都観光振興計画2025」では、令和12(2030)年度までに京都観光が目指す姿として「持続可能な観光」を設定するとともに、令和7(2025)年度までに取り組むべき事項を掲げ、各施策を推進してきた。
- 次期計画は、当該目指す姿を踏まえた上で、**現状やこれまでの成果、課題等を整理し、令和12(2030)年度までの5年間に集中的に取り組むべき事項を「3つのプロジェクト」(仮称)として打ち出す構成**にて検討中。
- とりわけMICE振興については、その重要性及びコロナ禍前は別立ての戦略を策定していた経緯に鑑み、計画のタイトルを「**京都観光・MICE振興計画2030**」(仮称)とする予定。
- なお、次期計画の検討に当たっては、「新京都戦略」(令和7(2025)年3月策定)及び現在検討が進んでいる「長期ビジョン」(仮称)との整合性を図る。

< 計画期間及び計画の体系 >



「京都観光・MICE振興計画」 (仮称) 策定スケジュール (予定)

- 本日(5月12日)の第1回審議会において今後の議論の方向性等について審議。
- 6月、プロジェクト毎に3つのワーキンググループに分かれて各論を議論。7～8月頃の正副会長会議において議論を集約し、9月頃の第2回審議会において次期計画の中間案を審議。11～12月頃にパブリックコメントを実施。
- ※ この間、平行して関係団体等に随時ヒアリングを行い、意見聴取を実施。
- 令和8(2026)年1月頃の第3回審議会において次期計画の最終案を審議。3月頃の次期計画の策定・公表を目指す。



(参考) 観光政策の変遷

- 本市では、平成12（2000）年に「観光客5,000万人構想」を発表し、平成20（2008）年に同目標を達成。
その後、**量の確保から質を高める観光**へと政策方針を転換。
- 現計画「京都観光振興計画2025」では、**観光客の数の目標は掲げず、令和12(2030)年度までに京都観光が目指す姿として「持続可能な観光」**を掲げ、各施策を推進している。
- MICEについては、平成22（2010）年に全国で初めてMICE戦略を策定。現在は「京都観光振興計画2025」の柱の1つに「MICEの振興」を掲げ、積極的なMICE誘致を進めている。

